

第1回臨時議会開催される(令和4年1月21日)

一般会計補正予算(第10号) 補正額5億4,029万円を可決 累計230億5,728万円に

1月21日に第1回臨時議会が開催されました。18歳以下の子どもへ現金を給付する子育て世帯への支援や、住民税非課税世帯へ現金を給付する事業費などを盛り込んだ、令和3年度一般会計補正予算(第10号)が審議され、賛成多数で可決されました。なお、第6回定例議会で減額修正された「第三セクター経営改革推進事業費946万円」が再提案され、本臨時会で可決されました。令和3年度の予算総額が230億円を超えました。

第1回臨時議会における一般会計補正予算(第10号)の内容

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費	1億4,384万円	18歳以下の子どもに10万円を給付する事業の未支給分
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費	3億8,699万円	住民税非課税世帯や住民税非課税相当になった世帯に1世帯あたり10万円を支給
第三セクター経営改革推進事業費	946万円	第三セクター4社の統合に向けた実務的な経営コンサルの委託料

- ◆18歳以下の子どもへの10万円給付の内、児童手当受給者への未支給分5万円と公務員の子ども及び高校生への10万円支給分と住民税非課税世帯へ10万円支給する補正予算です。財源は、すべて国の補助金です。
- ◆第三セクター経営改革推進事業は、今後、三セクの統合に向けて具体的に動き出すことになりました。
- 議員から、従業員に対して今後の雇用をどうするのか早めに説明するべきなどの意見が相次ぎ、当局からは、令和4年度は、三セク4施設とも営業する予定であり、従業員は継続して雇用するが、今後、個々に希望を聞くなどの面談を実施し、他の仕事の斡旋も含めた丁寧な対応をしていく。との説明がありました。

議会広報編集特別委員会の新メンバー紹介



青柳 宗五郎 議員

20年ぶりに議会広報の編集に携わっております。市民の皆さまに分かり易い表現での編集を心掛けたいと思っております。



澤田 雅亮 議員

何もかも初めての経験ですが、判らないことは関係箇所を取材して、自分なりに一生懸命務めさせていただきます。

伊藤邦彦議員 秋田県地方自治功労者表彰を受賞



伊藤邦彦議員は、西木村議会議員及び仙北山市議会議員として、永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績を讃えられ、秋田県知事から地方自治功労者として表彰されました。

仙北市議会議員一般選挙の日程(定数16)

※令和4年4月30日任期満了

◇告示 令和4年4月10日(日)
◇投開票 令和4年4月17日(日)

※この選挙から議員の定数が18から16に削減されます。

初議を終えて感じたことは行政、市政各々の立場、多角的な角度から物事を捉えているという事です。市役所職員、教育委員会など、其々のデータの収集方法があり、何より現場で培ってきた経験を元に分析を行い、新しい施策案を出していく。形としては、私も民間企業で働いてきた経験から、事業の進め方では通じる部分があると感じました。先輩議員の人生経験を踏まえた、市民の声の代弁者として、一般質問で堂々と発言する姿も非常に参考になりました。私は31歳です。すべてに前向きに取り組み、トライアンドエラーを繰り返して、大胆かつ仙北市の為になる改革を実践する市議会議員になります。

初議を終えて 澤田 雅亮

先の仙北市議会議員補欠選挙で初当選した澤田雅亮議員から初めての定例会を終えた感想をいただきました。

編集後記

田口新市長を迎えて初めて行われた12月定例議会。一般質問に対し直球で答弁する姿勢には、多くの議員が好感をもつて受け止めたのではないかと。持ち時間を余す議員もいた。議員の発言が聞こえにくいとの声が傍聴者からあった。これには私達も反省が必要である。市民には議会の姿勢を伝え、ご理解いただくことが大切な活動だ。

私達、編集委員による広報の発行も今回を含め2回となった。限られた紙面の中で質問者の真意を伝えることができたのか。又、当局の答弁が適切に伝えていることができ、市民に安心感を持ってもらうことができたのか。毎回反省の繰り返しである。議会の仕事は同調することではなく、しっかりとチェック機能を果たすことである。残された任期は少なくなったが最後まで緊張感を持った姿勢を保ち、その役割を果たさなければと思う。

(荒木田 俊一記)